「介護施設に関するアンケート」に874名からの回答

「今のうちから知っておきたい 介護施設の探し方」特集

アンケートで集めた読者の声に応える紙面づくり

▲2018年12月30日付　中日新聞朝刊　市民版15段

高齢人口の急速な増加の中で、医療や介護などの問題にいかに対応するかということが喫緊の課題となっている。核家族化が進み、単独世帯や夫婦のみの世帯が増加している現在、家族あるいは自分に介護が必要になった時に向けて、早い段階から多くの情報を集めることは施設とのミスマッチを防ぐとともに安心にもつながる。家族が集まりやすい年末に、改めて介護施設について考えてもらえるような紙面を目指した。

11月11日の介護の日に向けた企画にて、中日新聞の読者向け会員サイト「中日新聞プラス」を通じて介護施設に関するアンケートを実施し、14日間で874名からの回答を得た。今回の企画ではこのアンケート結果を円グラフに表し、読者のリアルな声を可視化した。また、瑞穂区東部いきいき支援センター長にインタビューを行い、アンケート結果の中で多くの声があった項目に関しての解説をしていただいた。

また、広告主のハートフルタウン今池とエイジトピアナゴヤ両施設長によるQ&Aや、施設の種類や入居に求められる条件をまとめた表などを盛り込み、各家庭で紙面を取っておいてもらえるようコンテンツを充実させた。

名古屋本社 広告三部 安藤香

高齢者ホームを選ぶときに最も重視すること（中日プラスアンケートより）

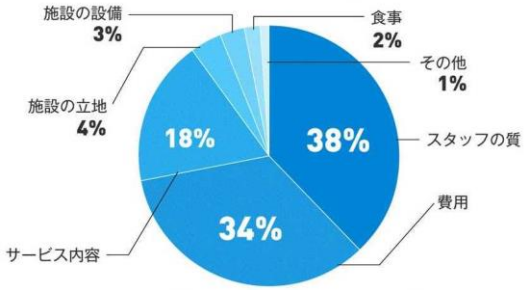
●実施期間：2018年11月9日～23日　●有効回答数：874名
●実施方法：中日新聞プラス内プレゼントコーナーにてアンケートを実施

・楽に負担できる費用でサービス内容がいいとありがたい。（男性・60代）

・いつまでも安心、安全、安らぎが得られるようなスタッフと設備が整ったホームを希望。（男性・60代）

・利用者の家族も安心できる、行き届いたサービスを重視したい。（女性・50代）

※自由記述より抜粋



紙面では、「高齢者ホームを選ぶときに最も重視すること」というアンケート項目で数値の高かった「スタッフの質」「費用」「サービス内容」「施設の立地」について、専門家が詳しく解説しました。

また、広告主である「ハートフルタウン今池」「エイジトピア・ナゴヤ」の両施設長に「施設での様子」を取材し、それぞれの特徴をわかりやすく伝えました。